

福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学） 月例報告書（2月）

派遣留学先：Vilnius University

氏名：高橋大輔

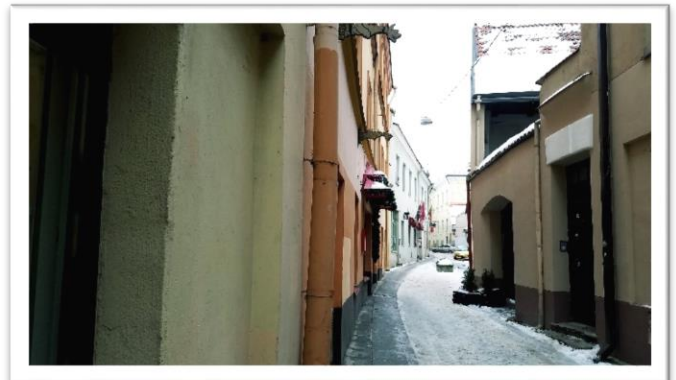
こんにちは。国際地域学部2年の高橋大輔と申します。私は現在、リトアニアにあるヴィリニウス大学に一年間の交換留学をしており、この報告書は現地に一ヶ月間住んでみた個人の率直な感想を綴る第一号です。拙い文章が続いておりますが、御一読いただければ幸いです

【リトアニア・ヴィリニウス大学について】

リトアニア共和国は東ヨーロッパにあるバルト三国の一つで、その中心都市であるヴィリニウスの美しい旧市街地は“The Old Town of Vilnius”として世界遺産に登録されています。その中心にはリトアニア大統領官邸があるのですが、実はそのすぐ隣にヴィリニウス大学が存在し、その歴史は四百年以上とされています。

【リトアニアでの生活】

毎日、外を歩けば古くも美しい街並みが広がり、日本の古都京都とはまた違った荘厳な雰囲気が街一帯を覆っています。そんなリトアニアの2月は非常に寒く、平均してマイナスがごく当たり前の世界です。また天気は曇りもしくは雪、雹など、基本的に日の目を見ることはありません。（その分、晴れたときは最高の気分です！）



スーパーなどの言語表記は主にリトアニア語で書かれているため、砂糖すらも見つけないのが現状です。店員さんもある程度若い方であれば英語は通じるのですが、お年を召されている方に対しては英語が全く役に立たないという場面も多々あります。

【オリエンテーションウィーク】

オリエンテーションウィークでは、ヴィリニウス大学についての案内のほか、言語を含めたリトアニアでの生活に必要な基礎知識を得ることができます。さらに ESN という学生団体によるたくさんのイベントが毎日開かれます。（旧市街地の散策、国際交流パーティ、カラオケパーティなど）

【リトアニアでの食事】

私の住む寮の近くにはスーパーとピザのお店しかありませんが、バスで中心街まで行くとたくさんのカフェやファストフード店、イタリアンレストラン、さらには日本食のレストラン

ンもよく見かけます。逆に、リトアニア料理専門店に関してはそれほど多くない印象を受けました。（日本における日本食専門店の数が多すぎるだけかもしれませんが。）これらの写真はリトアニア料理であるツェペリナイ（左）とシャルティバルシチェイ（右）です。



【リトアニア独立記念日】

2月に開かれる大きなイベントと言え、リトアニア独立記念日をおいてほかにありません。1918年2月16日、リトアニアはロシア帝国からの独立を果たしました。そして人々は今でも“一つ目の”リトアニア独立記念日として盛大にお祝い事をします。ここで私が非常に興味を持ったことは「大勢の人が国旗を持って街を歩いている」ということです。そもそも日本人は自国の祝日だからと言って日の丸を掲げることはまずありません。やはり長い歴史において、リトアニアは日本とは全くもって異なる経験をしてきたのだと改めて考えさせられました。

